

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	キャリア教育		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年		学 期	後期	教室名	803/織物手工芸室
担 当 教 員	吉岡 有理亜/山口 将司					
実務経験とその関連資格	<p>吉岡:作業療法士としてさつき訪問看護ステーション、鶴見緑地病院(身体障害領域)に勤務。作業を用いたリハビリテーションに従事。臨床実習指導者研修修了認定、MTDLP基礎研修修了</p> <p>山口:大学、専門学校、小中高教育機関、企業、行政機関への人間関係トレーニング・体験型コミュニケーションプログラム・青少年育成事業企画運営提供。また、保育士として認定こども園において、自然体験をベースに「自尊感情」「非認知能力」を育む場づくりを展開中。</p>					
《授業科目における学習内容》	<p>GIO:作業療法士としてキャリア形成について考えられる力を習得する。SBO:①自身のキャリアについて説明できる。②聞く・話す・読む・書くの技術を身につける。</p> <p>「対話的コミュニケーション要素(みる・きく・たずねる・こたえる)」、「自分自身のコミュニケーションの在り方」、「作業療法士として、よりよいコミュニケーションを目指す自分自身の姿勢・在り方」について、ワーク実習・課題を仲間と共に取り組み「今ここ」で起こっているものからの気づきをお互いに分かち合うことから、自分自身の在り方・作業療法士としてのこれからの自分と向き合い、理解を深めていきます。</p>					
《成績評価の方法と基準》	レポート : 100%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》	参考資料は随時配布					
《授業外における学習方法》	授業での気づきを通して、自分自身の日常の関わり方、在り方をふりかえり、日常の行動に活かしていく。各授業での小レポート(ふりかえりシート)に、書き出した自分の気づきを整理しておく。					
《履修に当たっての留意点》	<p>①主体性を発揮し自問自答をしてください。②積極的に参加し、体験したことを振り返ってください。</p> <p>③グループで対話し、意見をまとめてください。</p> <p>「人と人との関わりが学びの源泉」主体的に参加し関わることで得た気づきが、「今まで」と「これから」の自分をつないでいきます。</p>					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	作業療法士としてのキャリアを形成していく流れを理解できる。		配布資料	特になし	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション。キャリアセンターから本校における就職活動の流れ、求人票の見方。				
第2回	授業を通じての到達目標	医療福祉の業界で人事に携わる方の話を聞いて、その業界の現状、就職についての考え方を知る。		配布資料	前回授業の振り返り	
	各コマにおける授業予定	前回の振り返り。グループワーク学習。学習内容の発表。質疑応答。				
第3回	授業を通じての到達目標	業界で働いている先輩の話を聞いて、その職種の魅力と苦勞について知り考えること。現場からの就職についての考え方を知る。		配布資料	前回授業の振り返り	
	各コマにおける授業予定	前回の振り返り。グループワーク学習。学習内容の発表。質疑応答。				
第4回	授業を通じての到達目標	作業療法士が働くジャンル・施設がどのようなものがあるのか、どのような求人票となっているのかを理解する。		配布資料	前回授業の振り返り	
	各コマにおける授業予定	前回の振り返り。グループワーク学習。発表パワーポイント作成。				
第5回	授業を通じての到達目標	作業療法士が働くジャンル・施設がどのようなものがあるのか、どのような求人票となっているのかを理解する。		配布資料	前回授業の振り返り	
	各コマにおける授業予定	前回の振り返り。グループワーク学習。発表パワーポイント作成。				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	作業療法士が働くジャンル・施設がどのようなものがあるのか、どのような求人票となっているのかを理解する。	配布資料	前回授業の振り返り
	各コマにおける授業予定	前回の振り返り。グループワーク学習。発表パワーポイント作成。		
第7回	授業を通じての到達目標	作業療法士が働くジャンル・施設がどのようなものがあるのか、どのような求人票となっているのかを理解する。	配布資料	前回授業の振り返り
	各コマにおける授業予定	前回の振り返り。グループワーク学習。パワーポイントでグループ発表。		
第8回	授業を通じての到達目標	今後現時点の自分が作業療法士になるためにどのような準備をし、キャリアを形成していくイメージを考えることができる。	配布資料	前回授業の振り返り
	各コマにおける授業予定	前回の振り返り。レポート作成。		
第9回	授業を通じての到達目標	学び方を学ぶ	授業内で配布	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション ねらいの共有化		
第10回	授業を通じての到達目標	対話的コミュニケーション要素(みる・きく)をしる	授業内で配布□ □	授業の気づきから日常の行動を観る
	各コマにおける授業予定	コミュニケーションワーク ①みる きく		
第11回	授業を通じての到達目標	対話的コミュニケーション要素(みる・きく)、相互作用の意味をしる・わかる	授業内で配布	授業の気づきから日常の行動を観る
	各コマにおける授業予定	コミュニケーションワーク ②みる きく 相互作用		
第12回	授業を通じての到達目標	対話的コミュニケーション要素(きく・たずねる)をしる・わかる	授業内で配布	授業の気づきから日常の行動を観る
	各コマにおける授業予定	コミュニケーションワーク ③きく たずねる		
第13回	授業を通じての到達目標	対話的コミュニケーション要素(こたえる)をしる・わかる	授業内で配布	授業の気づきから日常の行動を観る
	各コマにおける授業予定	コミュニケーションワーク ④こたえる		
第14回	授業を通じての到達目標	人との協働過程での必要な要素をしる・わかる	授業内で配布	授業の気づきから日常の行動を観る
	各コマにおける授業予定	問題解決実習		
第15回	授業を通じての到達目標	作業療法士としての自分の価値観・可能性にふれる	授業内で配布	既習授業での自分自身の気づきをふりかえっておく
	各コマにおける授業予定	ビジョンシェアリング + アクションプラン		